

環境を守りましょう

水稲用一発肥料にはプラスチックが使われています

水田から流出させない

対策をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

被覆肥料のプラスチック殻は水田から流出させないようにしましょう!

被覆肥料の殻

移植時期 代かきによって巻き上げられた殻が移植前の落水時に流れ出てしまいます



対策のポイント

対策1 浅水代かき

- 均平化**
入水前に田面はできるだけ均平にしましょう
- 畦畔管理**
あぜが崩れていないか確認しましょう
排水溝には止水板を設置しましょう
- 入水量**
大部分の地表が見えるぐらい浅めの入水にしましょう
- 自然落水**
移植前の落水は行わず自然落水により水位を調整しましょう

浅水での代かき

被覆殻が流出しない

自然に落水

田植え

落水せず当日～数日のうちに移植しましょう!

対策2 ネットの使用

※強制落水を行う場合の対応策です。

- 材料を揃える**
材料一覧例 / ①玉ねぎネット ②BBQ用の網
100円ショップで入手可 ※ネットの網目は2ミリ以下
③クリップ ④園芸用支柱
- 水尻に設置**

ネットのみ

園芸用の桶

QRコード: 被覆肥料の殻の流出防止対策動画

You Tubeにて対策動画を公開しています

◎二段構えで薬詰まりを防ぐ

<メーカー・全農による共同研究・開発について>

- ①環境にも配慮するため、光や微生物の働きにより土壤中に崩壊・分解しやすくなるように各メーカー工夫をしていますが、分解するまでかなりの時間がかかります。
- ②より速やかに分解させる技術の確立を目指し、メーカーと協力して研究開発に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS